

業務の新聞

第3号 平成29年 5月20日

“危機管理！！”

秋葉原駅での「爆弾騒ぎ」を知っていますか？

改札内の多機能型トイレで“不審物”が発見され、警察の指示により電気街口のシャッターを3時間あまり閉鎖されました。幸い大事には至りませんでした。

相手が「爆弾」ですから、現場では大変な混乱だったことは容易に想像出来ます。対応に当たられた方々に敬意を表します。

“危機管理”という点から見てみるとどうでしょうか？そして何点か疑問もあります。

- ① なぜ、列車の運行を続けさせたのか？
- ② 列車の運行は判断をしたのは誰なのか？
- ③ このような事態に対する“マニュアル”はあるのか？
- ④ 社員をはじめ関係者への周知や教育はどのようになっているのか？
- ⑤ “時系列”ではどうなっているのか？

挙げればキリがありません。

日を置かず、「ミサイル発射時の対応…」の掲示が張り出されました。

“戦時下”のような状況を想定した指示・指令を掲出しただけで、まさか支社は、周知したというのではないでしょう。

駅を利用し駅ビルなどで買い物や食事をされる大勢のお客様を短時間で安全に的確に避難・誘導することは至難の業です。危機管理を考えるよい機会かもしれません。タイミングを失することなく現状に即した内容をみんな話してみましよう。

駅全般業務委託交渉

4/28、駒込駅全般業務委託提案に対する交渉を行いました。

ホームドアが導入されている山手線内では、はじめての駅全般業務委託になります。

私たちは、要員配置について、教育について、JRとJESSの関係性について、駅特状について、不測の事態について、スケジュールについてなど日々業務を担う視点から問題提起し改善を求めて論議しました。

支社経営側も初めての施策展開であることも考慮してか、「教育は不安を解消する意味でも丁寧か行う」「委託後も十分に意見交換し要望なども聞く、管理駅からの履行確認もキチンと行う」等の回答がなされました。

現在、多くの職場で“多様な雇用形態”のもと、多くも仲間たちによって日々の業務が行われています。まずは、仲間たちの声を聞き、施策の検証と進めていきます。気掛かりや疑問そして“文句”でも地本に聞かせてください。ここからはじめていきます。

発足から30年!!

JR 東日本は、会社発足から30年を迎えました。

「どんな感じですか？」

「良い会社ですか？」

様々な思いがあることと思います。会社の成長・発展・福利厚生、私たちの労働条件・労働環境・職場環境、グループ会社の労働条件・労働環境・職場環境。何より安全の取り組み。決して“完成形ではありません”自分の職場そして自分の生活をもう一度見直して『改善』を目指しましょう！